

一般社団法人日本粘土学会 2020 年度第 1 回常務委員会議事録（案）

日 時：令和元年 9 月 11 日（水）12:00～13:00

会 場：埼玉大学 全学講義棟 1 号館 203 教室

出席者：常務委員（13 名）：山崎淳司、河野元治、中川昌治、佐藤 努、蛭名武雄、日比野俊行、伊藤健一、小口千明、川俣 純、鈴木正哉、田村堅志、樽田誠一、鈴木憲子

監事（2 名）：月村勝宏、志々目正高

事務局：川島朝子

成立確認：常務委員総数 15 名の過半数 8 名

出席常務委員 13 名で常務委員会の開催は成立

審議事項

1. 常務委員会役割分担について（理事会資料 1）

佐藤常務委員長より資料に基づき 2020 年度常務委員会役割分担について説明があり、それぞれ確認をして欲しいとの要請があった。また、理事会で指摘があった、企画委員会委員および参考粘土試料委員会委員に推薦されている伊藤弘志委員について、本人の意向を佐藤常務委員長が確認したところ、遂行は難しいとの返事であったことが報告された。

以上、審議の上承認された。

2. 2020 年度事業計画年間スケジュール（理事会資料 3）

佐藤常務委員長より年間スケジュールについて確認があった。本年度は選挙の年なのでその日程が加わっているとの説明があった。今後は Zoom の導入で電子会議を実施したいと考えている。対象は会場に来るのが難しい委員だが、交通費が 5 万円以上の委員も考えて欲しいとの意見が会計から出された。7/25 はパブリッシングセンターが取れなかったので他の場所になる予定である。また各委員から以下の様な発言があった。

- 第 64 回粘土科学討論会のセカンドサーキュラーを第 3 回常務委員会までに準備する。
- 粘土科学 12 月には研究グループ報告を追加
- 学術振興賞受賞者は帰国後 3 ヶ月以内に Clay Science に投稿の義務があるが、難しいようなら連絡を欲しい。
- 総会・理事会で何か新企画、特にセミナーなどをして欲しいとの要望があったので、企画委員会で検討をする。伊藤委員が抜けるので補充して欲しいとの要望があり、田村委員長が人選をすることとなった。
- 参考粘土試料の頒布について、一回量はそのまま、種類を増やす方向で検討している。

以上、審議の上承認された。

3. 粘土科学討論会について

(1) 第 64 回粘土科学討論会について

樽田実行委員長より日程（9/15～17）と会場（工学部：長野市）が発表された。多くの方の参加をお願いします、との発言があった。

(2) 第 65 回粘土科学討論会について

佐藤常務委員長より第 65 回粘土科学討論会は実行委員長を笹井理事とし、島根大学で開催の内諾を得ていることが発表され、笹井理事から挨拶があった。

以上、審議の上承認された。

4. その他

- (1) 討論会の領収書は会計報告後事務局で保管をすることとした
- (2) 理事の人数を減らすという意見があったが、今回は 30 名のまま選挙しその後検討することとした。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、常務委員長及び監事がこれに記名押印する。

令和元年 月 日

一般社団法人日本粘土学会 常務委員会

常務委員長 佐藤 努 ⑩

監 事 月村勝宏 ⑩

監 事 志々目 正高 ⑩